

2020年11月15日

東アジア地域包括的経済連携（RCEP）協定の署名について

日本機械輸出組合
理事長 小林 健

今般、東アジア地域包括的経済連携（以降 RCEP）協定が署名されたことを日本機械輸出組合として歓迎し、我が国政府関係者のここに至るまでのご尽力に深謝致します。

RCEP 協定は、世界 GDP、貿易額及び人口の 3 割、我が国貿易額の約 5 割をカバーする巨大な経済圏を形成するものであり、我が国機械産業の貿易・投資拡大に寄与するものであります。

RCEP 協定が、貿易・投資の自由化、知的財産権や投資の保護、データの取り扱いに関する地域大の共通ルールづくりを実現することは、多様化するビジネスモデルの更なる革新を加速するものと考えます。

これまで経済連携協定が結ばれていなかった中国と韓国をも包含する RCEP 協定の締結は、部品・素材を中心に日本からの輸出を促すことが期待されます。加えて、貿易促進的な原産地規則を実現することにより、サプライチェーンの分断を引き起こしたコロナ禍において、同地域内におけるサプライチェーンの最適化、活性化を促し、我が国機械産業に新たな機会を切り開くものと評価致します。

RCEP 協定の早期発効を望むとともに、近い将来インドが同協定に参加することを希望致します。

以上